



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

適正な茎数を確保し、中干しを始めよう！！

例年、中干し時期と梅雨時期が重なります。

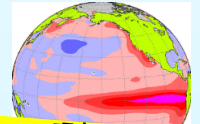
そのため、今年の梅雨入りはいつか？エルニーニョ現象の影響は？

気になるところですが、

東海地方については、平年の梅雨入りは6月8日です。

向こう3か月予報を見ると(名古屋気象台5/24発表)

今のところ降水量は、6月は少なく、7月・8月には平年並か多くなる見通しになるようです。



エルニーニョ現象継続！？
今年の夏は冷夏？

そこで！！

今からの中干し作業が大切になります。



6月
降水量
少ない！？

7月
降水量
多い！？

8月
降水量
多い！？

米の品質を確保するため、

収穫7日前まで落水せずに水管理をするには、今からの中干し作業が大切です。

中干し時期にしっかりと圃場を乾かして

雨が多いかもしれない8月にスムーズに収穫作業ができる準備をしましょう！

中干しを開始する目安は、目標茎数(コシヒカリで400本/m²・20本/株)の8割になればスタート！！

50株/坪植えでは、18本/株

60株/坪植えでは、16本/株 を 目安に行いましょう！！

※もしも、植え傷みなどで今はまだ茎数が少ない方は、

中干し時期を遅くして、適正な茎数になってから中干しを開始しましょう！

中干し終了後の水管理も大切です。

基本的には、中干し期間は10日前後になります。

遅くても、出穂20日前までに中干しを終了して下さい。

水を入れるタイミングが遅れて水不足で穂の生育に影響を与えないようにしましょう。

また、中干し終了直後の水管理は、走り水や間断灌水にし、根の伸長が衰えないようにしましょう。

根数は、出穂前20日前頃に最大になり出穂期には新根がほとんど出なくなります。

成熟期までしっかりと根の活力を残すことで、天候に負けない米作りを目指しましょう！

イネの栽培の中で、1番水が必要な時期！！
(幼穂形成期～出穂期)

